

世界のあいさつ——声と身ぶりであいさつ

単元の位置	本時 I	2◎
-------	------	----

前時：ー（単元のはじめ。外国語活動の最初の時間）／次時：第2時 ハロー・チェーン→なまえカードあいさつラリー

この時間を3行で

① 世界のあいさつを身ぶりつきであいさつし、先生の Hello, I'm ○○. に返す

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ○言えなくてよい時間。身ぶりであいさつできているかを見る

本時の目標	世界にはいろいろな言語のあいさつがあり、ことばも身ぶりもちがうことに気づくとともに、ナマステや Hello! を身ぶりをつけてあいさつしたり、先生の Hello, I'm ○○. に Hello! と返したりして、あいさつに慣れ親しむ。（知識・技能）
めあて	せかいの あいさつを きいて、みぶりと いっしょに まねしよう 
見取り	本時は見取りを記録しない（○15-25 身ぶりをつけてあいさつできているか（声が出なくてもよい））

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド [] 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	帯：歌 あいさつ→歌（デジタル教材）。 終わったらスライドショーを始める。	T Hello, everyone! みなさん、こんにちは。 T あいさつは声だけじゃないよ。手をふるのも、おじぎもあいさつ。	▶S1 ◇手をふる・おじぎで返した子も「それもあいさつ」と受けとめる
5-12 全体	あいさつカード8枚を聞いてまねする→先生が指した絵のあいさつを、みんなで言う。 S: Good morning! / Good night!	T Listen and repeat. 聞いて、まねしてね。	▶S2 [あいさつカード] ・全部を覚えなくてよい ⇒2
12-15 全体	めあてを聞き、英語のほかのことばのあいさつもあると知る。	T 世界には、いろいろなことばのあいさつがあるよ。ことばと身ぶりをよく見てね。	▶S3
15-25 全体	世界のあいさつジェスチャーごっこ。先生が言って身ぶりを見せる→みんなで2回まねる（Hello!・ニーハオ・ナマステ・ジャンボの4つ）。 S: ナマステ！（手を合わせる）	T Repeat and do the gesture. まねして、身ぶりもいっしょに。	▶S4-5 [活動シート2] ◇発音はにせものでよい。まねをほめる ◆声が出ない子は身ぶりだけで ○まねが止まる子を見る（記録しない） ⇒2
25-30 全体	ジェスチャー当て。先生が身ぶりだけ見せる→どのあいさつか、みんなで言う。 S: ジャンボ！	T Quiz time! Gesture only. クイズです。身ぶりだけ見せるよ。	▶S6 ・答えはみんなで言う（1人に答えさせない）。点数はつけない
30-33 全体	気づいたことを話す→出たつぶやきを、黒板の右に日本語で書く。 S: おじぎのふかさがちがう S: 手を合わせるのが神社みたい	T どのあいさつがすき？ 日本のあいさつとにているのはどれ？	▶S7 ◇つぶやきを板書して拾う（名前は書かない）
33-37 全体	先生が名前を言ってあいさつ→みんなで Hello! と返す→先生のあとについて、自分の名前で全員いっしょに言う。 S: Hello! S: Hello, I'm ○○.（全員で）	T Hello, I'm ____. （自分の名前で）こんにちは、○○です。	▶S8-9 ・I'm を「わたしは」と訳して説明しない。かたまりのまま何度も聞かせる ◇1人ずつ言わせない（全員いっしょに・小さな声でよい）
37-45 全体→ひとり	ふりかえりカードをくばり、毎時間の欄に1行（○か、ひらがなで1行）。あいさつ。	T どのあいさつがおもしろかった？ T Goodbye! See you. さようなら。またね。	▶S10-11 [ふりかえりカード] ⇒2

第1時 見取り・板書・準備（前の日に読む面）

見取り 本時は指導に生かす見取り

本時は見取りを記録しない。
○15-25 身ぶりをつけてまねできているか（声が出なくてもよい）→第2時の帯（世界のあいさつ）で、まねが止まったあいさつを先に出す（その場の手立て：止まった子の近くで先生がもう一度ゆっくり身ぶりをして見せ、身ぶりだけでもまねできたら「それもあいさつ」と伝える）
評価に入れないこと：世界のあいさつの発音（にせものでよい）／Hello, I'm ○○. を1人で言えるか（全員いっしょでよい）／目線・声の大きさ・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

5-12 ・カードは黒板の横のあいさつコーナーに貼に残す（第2時も使う）
15-25 ・〔活動シート2〕は先生の読み上げ表（配らない）。言語名は「ヒンディー語」のように○○語で伝える（国とことばは1対1ではない）
37-45 ・ふりかえりカードは単元を通して同じ紙。先生が集めて第2時にくばる

板書計画

左	中：会話の型	右：きづいたこと
日付・だいじ めあて（手をふる絵 をそえる）	あいさつカード8枚（語は書き足さない） 世界のあいさつの身ぶりの絵（ことばはカタカナ。英文は書 かない）	つぶやきを日本語で2～3（おじぎ のふかさがちがう など・名前は書 かない）
黒板の横：あいさつコーナー（あいさつカードを貼に残す） テレビ（映すだけ）：きょうの流れ・やり方の1文（映すだけ） 書かないもの：すきなあいさつの人数／児童の名前		

ALT

いるとき：・ALT の出身地や知っている言語のあいさつ
を1番目に（身ぶりつき）
・33-37 は ALT が Hello, I'm ○○. のお手本。先生と1
往復して見せる
いないとき：・世界のあいさつは先生が読み上げ表のカタ
カナで堂々と（デジタル教材の音声があれば使う）
・33-37 は先生が名前を言い、子どもが Hello! で返す1
往復から
ALT に頼まないこと：Please don't correct students'
pronunciation of the greetings. Please don't ask students
which countries they have been to.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：なし（世界のあいさつは先生が出す。行ったことのある国や、
家族の話に広げない）
くらべる：発音のうまさをくらべない（にせものでよい）。ジェス
チャー当ては全員で答え、点数をつけない
目立つ：外国につながる子や海外にいたことのある子に、お手本や
答えを求めない（本人が話したいときだけ）
単元計画の配慮①：声を出すことに不安が強い子は「手をふる・お
じぎ」のジェスチャーだけで参加OK（あいさつは声だけではな
い、と最初に全体へ伝える）

時間が足りないとき

削る順：①ジェスチャーごっこ（15-25）は3つのあいさつで
②ジェスチャー当て（25-30）を切り、気づきの話し合い（30-
33）へ（▶S7へ）
③あいさつカード（5-12）は hello・good morning・goodbye・
see you の4枚で
削らないもの：先生の Hello, I'm ○○. に Hello! と返し、自分の名
前でもいっしょに言う1往復（33-37）
前の時間が終わっていないとき：前の時間は無い（外国語活動のは
じめ）。学級開きの活動が押した日は、5-12 を4枚にして15分か
ら世界のあいさつに入る

準備物

- ☐ 〔あいさつカード〕 提示用1部
- ☐ 〔活動シート2〕 先生用1部（読み上げ表・配らない）
- ☐ 〔ふりかえりカード〕 人数分（この時間にくばる・
単元を通して同じ紙）
- ☐ 〔ALT打ち合わせシート〕 ALT が来る日に1部（前
の日までに渡す）